



## ジャン＝マルク・ルイサダ (ピアノ)

### Jean-Marc Luisada

1958年チュニジア生まれ。ピアノは6歳より始め、パリでマルセル・シャンピ、ドウニーズ・リヴィエールの二人に師事。その後、イギリスのユーディ・メニューイン音楽学校でも学ぶ。16歳でパリ国立高等音楽院に入学、ピアノをドミニク・メルレに、室内楽をジュヌヴィエーヴ・ジョワ＝デュティユーに師事し、その両方の課程でブルミエ・プリ(一等賞)を獲得。また、ニキタ・マガロフとパウル・パドウラ＝スコダ、ミロッシュ・マギンらのもとでも定期的に学ぶ。

1983年、ミラノ・スカラ座で開催されたディーノ・チアーニ国際ピアノ・コンクールで第2位入賞。1985年、ワルシャワでのショパン国際ピアノコンクールで第5位に入賞し、あわせて国際批評家賞を獲得。このショパン・コンクールでの成功が彼を国際的キャリアに導ききっかけとなり、以来世界各地においてソロ、室内楽、協奏曲のジャンルで幅広い演奏活動を展開する他、ドイツ・グラモフォンおよびRCAビクター(BGM)より多数の録音を続々と発表し、2007年からは日本でも定期的に録音を行っていてその全てに高い評価を得ている。

1989年6月に「芸術文化勲章シュヴァリエ」を、1999年11月には「国家功労5等勲章」をフランス政府より授与される。2003年7月14日には、「芸術文化勲章オフィシエ」を授与された。パリ在住。



## ウラディミール・ブカチ (ヴィオラ)

### Vladimír Bukač

1964年生まれ。幼少の頃よりヴァイオリンを始め、プラハ音楽院、音楽アカデミーで学び、その後ドイツのフライブルク音楽大学に留学。学生時代より国内外のコンクールに入賞。

チェコの名門カルテットとして50年以上の歴史を持つターリヒ弦楽四重奏団に2000年より参加。以来、世界中で演奏を行っている。それ以外でもソリスト、室内楽奏者として多くのヨーロッパの国際音楽祭、イスラエルや日本、アメリカへも定期的に招かれている。CDや放送音源の収録も数多く行い、リリースされた録音は欧州の著名音楽雑誌(ストラッド誌、ドイツ・グラモフォン誌等)からも高い評価を得ている。

2002年からはドイツのドレスデン音楽大学の教授を務め、マンチェスターにある王立ノーザン音楽大学や、その他ヨーロッパやアメリカの音楽大学のマスターコースにも招かれている。数々の国際音楽コンクールの審査員としても定期的に招かれている。

使用楽器はサンティエロ・ラヴァッツァ(1725年製)とG.P.ガダニーニ(1775年ミラノ製)。



## 小坂井 聖仁 (ヴァイオリン)

### Kiyohito Kozakai

愛知県立明和高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科修了。ハンブルク音楽演劇大学修士課程修了。横浜国際音楽コンクール、ルーマニア国際音楽コンクール、日本モーツァルト音楽コンクール、ガエタノ・ジネッティ国際コンクール(イタリア)等で優秀な成績を修める。

これまでにPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)、小澤征爾音楽塾、サイトウ・キネン・フェスティバル、MMCJ(ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン)、別府アルゲリッチ音楽祭、ハンブルク弦楽音楽祭などに参加。

現在、シュトゥットガルト・フィルの研修生。名古屋フィル、ハンブルグ・シュターツ・オペラ、北ドイツ放送交響楽団、シュペリーン歌劇場のメンバー等と共演。ほか国内外のオーケストラにヴァイオリン・ヴィオラ双方のエキストラとして参加している。

ヴァイオリンを中川智之、西田博、佐々木はるる、小林健次、C.シッケダンツの各氏に師事。ザハール・ブロン、ジャン＝ジャック・カントロフ、パヴェル・ヴェルニコフ各氏のマスタークラスを受講。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

## 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

## 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅(12)番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

## 宗次ホール

Munetsugu Hall

名古屋市中央区栄4-5-14 ☎460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~18:00  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)